

消防訓練の実施方法

今回から3回にわたり連載で総務省消防庁違反是正支援センターで作成した訓練マニュアルを紹介させていただきますので、火災予防の取組みとして皆様で活用してください。

1. 消防訓練

●初期消火の目的＝火災を早期発見し、被害を最小限にとどめること

<p>1 火災発生</p> 		<p>電話が長引いているうちに、天ぷら鍋に火がつかました！</p>
<p>2 初期消火判断</p> 		<p>天井まで火は届いていません。まだ消すことができます。</p> <p>「火事だ！火事だ！」と叫びながら、周囲に火災を知らせます。</p>
<p>3 消火器の準備</p> 		<p>慌てずに消火器を準備します</p>  <p>1 運搬する時 2 ピンを抜き 3 ノズルを火元に向ける 4 にぎる</p>
<p>4 消火活動</p> 		<p>火元に向けて消火剤を放出します。火が消えたら、ガスの元栓を閉めます。</p> <p>※ 消火後、天ぷら鍋の温度が完全に下がったことを確認してください。</p> <p>●よくある失敗例（天ぷら鍋に水）</p>  <p>天ぷら鍋に向かって水をかけると、炎が飛び散ってしまい大変危険です。</p>

今回は、通報訓練についてです。➡



川崎消防団では、消防団員を募集中です！

地域を守る！熱いハートのある方を募集しています。お問い合わせ：川崎消防署予防課 TEL 223-0119